高校生のキャリアノート　担任アンケート結果

岡山県立勝間田高等学校

学年時期	担当	題　材	1．題材と学年のマッチング	2．実施時期	3．教材として	4．指導しやすさ	5．良かった点	6．生徒の様子や問題点
1年 11月	A	2．自分発見	適切	適切	まあ適切	どちらとも	友人の感想は刺激になった。	自分の長所を書くことは難しいようだ。
	B	2．自分発見	まあ適切	2学期の早い時期	まあ適切	まあ適切	自分自身を見つめ直す時間となった。	自分を探したり考えるのは難しいようだ。
	C	2．自分発見	適切	適切	適切	まあ適切		恥ずかしがりながらも一生懸命に取り組んでいた。
	D	2．自分発見	適切	「私の履歴書」は年度末，「開け未知の窓」は1学期が適切	適切	まあ適切	進路を考えるきっかけになった。	多くの生徒は熱心に取り組んでいたが、ふざけ半分の者もいた。
2年 11月	E	19．自己PR	適切	適切	適切	適切	段階的に自己PRまで進める。Stepに分かれていて取り組みやすい。	使われている言葉の意味が分かりづらいようだった。説明に時間を要した
	F	19．自己PR	まあ適切	まあ適切	まあ適切	まあ適切	自己PR内容の多い生徒はPR文まで書けている。	部活にも入らず，PR内容の少ない生徒は意欲的でなかった。4ﾍﾟｰｼﾞQ1の言葉の意味が理解できない者が多かった。今後，PR出来ることを多く作ることの必要性には気づいていたようだ。
	G	19．自己PR	適切	適切	適切	まあ適切	自己分析で長所・特徴を考えるきっかけになった。	自分自身の長所等をチェックする段階では消極的であった生徒が発言し合ったりする中で真剣に取り組んでいた。このような機会をまた作りたい。
	H	19．自己PR	適切	適切	適切	適切	例があり，考えやすかったようだ。	生徒への意識付けになった。自己PRのきっかけになった。
3年 6月	I	20．コミュニケーション	まあ適切	3年の早い時期	まあ適切	まあ適切	心構えをつくるきっかけになっていたと思う。	就職希望者には良い刺激になっていたようだが，進学希望者には人事のような生徒が見られた。
	J	20．コミュニケーション	まあ適切	適切	まあ適切	まあ適切	話し方聴き方など，ノンバーバル・コミュニケーションについて考えることが出来た。	進め方に工夫は必要で，ｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ形式で進めれば良かったかと思う。言われた立場になったり，相手の気持ちになって考えたりすることができた。頭ではどうすべきかはよく分かっているが，実際場面では？
	K	20．コミュニケーション	適切	適切	適切	まあ適切	具体的な場面を想定した教材で，考えやすかったようだ。	実践的なｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの取り方について考えさせることが出来，有意義であった。
	L	20．コミュニケーション	2年の3学期	2年の3学期	適切	適切	応用できる。	知識としては備わっているようだったが，実践力には不安が残った。